



おまたの里だより

Vol.60

令和7年3月31日発行

〒010-0132 秋田県秋田市上新城小又字落合 85 番地 TEL: 018-870-2361 FAX: 018-870-2372
発行者 社会福祉法人 秋田福祉協会 指定障害者支援施設 小又の里・小又の里保護者会



生涯学習講座



みんなのキンビプロジェクトとして秋田県立近代美術館の学芸員の方を講師にお招きし、墨で達磨大師の絵を書いたり『みんなのキンビ』の鑑賞を行っています。

今後の行事予定

- 4月 お花見ドライブ
- 5月 健康診断
- 8月 夏祭り
- 4月～9月 生涯学習講座(月1回)



※インフルエンザ等の感染状況によっては、今後の行事等が延期・変更・中止になる場合がございますのでご了承ください。



編集後記

無事創立25周年記念式典も終えることができました。今年度の広報誌も皆さまのご協力により、前期・後期2回を発行することができました。日頃からのご支援・ご協力誠にありがとうございます。利用者様の皆様が元気に楽しんでいらっしゃる様子を見ることができていれば幸いです。来年度も小又の里をよりよく願っています。

寄贈



北都銀行様より、車椅子2台をご寄贈いただきました。各種行事や通院時に利用者様のために使わせていただきます。誠にありがとうございました(利用者一同)



入職職員紹介



後藤 玄
支援員



伊藤 恵
支援員



一関 淳史
支援員



若狭 和彦
現業員

！新たに4名の職員が入職しました！ よろしくお願いたします！



二つの要望

社会福祉法人秋田福祉協会 理事長

瀬田川 栄一

私が理事長に就任した頃から、保護者会の会長である田中勉さんから二つの要望がされていた。その第一は障害者支援施設の利用者さんが高齢、あるいは介護が必要な時に入所する施設(特別養護老人ホーム)を創ってほしいこと。

二つ目は九、九に二人が入居している状況はトラブルが多く、可能であれば一人一部屋にしてほしい旨の要望があった。

約五年前にこれらの要望は実現できたと思っている。障害者さんが入所する特養「共生の里」は小又の里からの入所はもちろん全県から利用されている。現在は約三十人入所しているが、これをもっと増やして良いと思っている。他施設でできないことを共生の里が引き受ける心構えでいる。職員も対応できるようにってきている。小又と共生の職員同士の交流もあるが、もっと活発になればよいと思っている。

二つ目の完全個室化を実施したことで、利用者同士のトラブルがほぼ無くなった。コロナ禍などでは集団感染を防ぐなど予想していない成果もあった。反面職員の負担は多くなったようだ。例えば夜中の安全を確かめるにしても、二十五室を回るのを五十室回ることになるからだ。職員の負担は多くなるが利用者さんが安全で生活しやすいことを考慮すれば、それは何より優先する事と思う。

今、田中会長は小又の里の保護者の会長を辞する時が来ている。(兄弟が小又の里に入所していたが、二人とも共生の里に移ったことによる) 国も地方も「親なき後」が大きなテーマになっているが、二人の兄弟も特養に入所したことでご家族様も含め少しは安心していただけるのではないかと思う。

今日まで小又の里の二代目保護者会の会長・秋田県手をつなぐ育成会の会長、また本協会の役員として長きにわたりご尽力いただいたことに深く感謝の意を表したい。今後は共生の里で入所している兄弟を見守っていただき本協会にも適切なご指導とご助言を賜れば幸いです。永い間ありがとうございました。



新年会



今年度のアトラクションは、2つ！
 ふうせんやshibu様のバルーンアートは、目の前でカラフルな蛇や鳳凰が出来上がっていき皆さま歓声を上げておりました。
 音打屋様の演奏ではなまはげが会場を練り歩き厄払いと皆様の一年の幸運を祈っていただきました。和太鼓の演奏も迫力がありました。



創立25周年記念式典・お食事会



お世話になっている保護者の皆様、地域の皆様や企業の皆様を小又の里へご招待して25周年記念式典・お食事会を開催させていただきました。お笑い芸人のねじ様によるアトラクションでは聞きなれた秋田弁でのネタに皆様楽しんでおられました。



産業まつり



小野花子さんの民謡ショーと春風亭昇羊さんの落語会を楽しみ、くじ引きではなんとみかん箱が当たりました！！



就労B型ドライブ



農産班と木工・清掃班で焼き肉バイキングとドライブに行ってきました！

